

特集

新学部と新学科のスタート

都留文科大学入学式
新教員紹介
学外研究報告／講演会だより
昨年度の就職状況
学生による授業アンケート
文大だより／ぶんだい堂

第45回鶴鷹祭 開催



▲入学式の様子

都留文科大学 入学式

—— 今年の入学者は825名

4月4日（水）、都の杜うぐいすホールにおいて、平成30年度都留文科大学入学式を開催いたしました。

式典は、2部制で実施され、午前10時から行われた第一部では、学校教育学科・地域社会学科・国際教育学科・専攻科・編入生（初等教育学科・社会学科）、午後1時30分から行われた第二部では、国文学科・英文学科・比較文化学科・大学院・編入生（国文学科・英文学科・比較文化学科）を対象に行われました。

入学者の内訳は、教養学部：学校教育学科 209

新入生のことば



教養学部 地域社会学科 新入生代表 佐藤優花

やわらかな風に包まれて、都留の山々に桜が咲き誇るこの佳き日に伝統ある都留文科大学の入学式を迎えられたことを大変嬉しく思います。これも母校の先生方の熱心なご指導や家族、友人たちをはじめとする多くの方々の支えがあったからです。そのことを心に留め、四年間の大学生活を実り多くかけがえのないものにすべく、日々精進して参ります。

東日本大震災以降、豪雨や地震、噴火など様々な自然災害が起り、日常生活が奪われ、尊い命が多数失われました。いつ起こるかかわからない自然の脅威に怯

える中で、当たり前で過ごす毎日が大切なものだと実感しています。

現代社会は、情報化やグローバル化の発展、人工知能の発達が進んでいます。しかし、人工知能の普及によって人の仕事が減少すると言われていました。また、職種による人材不足、言われて久しい少子高齢化、環境や福祉などの問題はまだまだ改善されません。

この社会の中で私たちは、夢や目標を抱き実現させるため、社会の変化に対応できる力を身につける必要があります。新たな学部、学科が生まれたこの環境で勉強だけでなく多くの事に挑戦し、様々な場所から集まった仲間たちと交流を深め、豊かな人間性を育み、グローバルな能力を身につけたいです。

私たちは、歴史ある都留文科大学の学生として恥じることの無いよう、また、社会に貢献できるよう、限られた四年間の中で積極的に学び、成長すべく一日一日を大切に過ごしていくことを決意し、新入生のことばと致します。



▲スカウトストリート企画



▲当日の様子



名、地域社会学科 171 名、文学部:国文学科 120 名、英文学科 139 名、比較文化学科 122 名、国際教育学科 40 名、文学専攻科 2 名、大学院文学研究科 7 名、学部編入 15 名であり、合わせて 825 名の入学が認証されました。今年は、2 学部制になって初めての入学式であり、教養学部のスタートとなりました。

会場の大ホールは、入学者およびその保護者でほぼ満員となり、小ホールのスクリーンでも保護者が見守る中、式典が執り行われました。

新入生代表による挨拶では、地域社会学科の佐藤

優花さんが「歴史ある都留文科大学の学生として恥じることの無いよう、また、社会に貢献できるよう、限られた四年間の中で積極的に学び、成長すべく一日一日を大切に過ごしていくこと」、国文学科の上田あいりさんが「学ぶ機会を得られたことに感謝し、自信と誇りを持って歩みを進め、日々成長していくこと」とそれぞれの決意を述べてくれました。

最後には、吉田悟氏の指揮による本学管弦楽団の演奏にのせて、本学合唱団とともに学生歌「花のかげ」を全員で合唱し、厳粛なうちに式を終了しました。



文学部 国文学科 新入生代表 上田あいり

やわらかな陽射しの降り注ぐ季節を迎え、春の息吹が感じられるこの佳き日に、伝統ある都留文科大学入学式を迎えられたことを大変嬉しく思います。これも、母校の先生方の熱心な教えをはじめ、家族、友人、地域の方々の支えがあってこそだと思います。そのことに感謝するとともに、これからの四年間、この学舎での日々を大切に過ごして参ります。

東日本大震災から 7 年、熊本地震から 2 年が経ちました。今年は大雪もありました。台風や噴火、私達の生活は災害と隣り合わせです。当たり前の日々が当たり前でないことに、教科書を開き、友と語り合うことの特別さに、改めて気づきました。

また、今年の 2 月 9 日から平壤オリンピック・パラリンピックが行われ、挑戦し続ける選手の姿に多くの感動と勇気もらいました。目標に向かって歩み続けることは大変困難です。しかし、世界という大舞台で挑戦している選手の姿は、努力による強さを感じました。何をすべきか、どうしたらよいのかを考え、仲間と支え合いながら進んでいくことを知る機会になりました。

今日の社会は情報化が進み、技術も向上し、生活はより便利になるなか、少子高齢化やグローバル化が進展し、財政、憲法なども話題になっています。先々を見通すことは難しく、不安がつります。

私達はそれぞれに夢や目標を抱いてここに立っています。社会は混沌の中にあり、日々、変化していきます。現実に向かい向かっていくことに逃げ出したくなることがあるかもしれませんが、私達は学ぶことの特別さを知っています。また、努力し続けることの難しさ、支え合うことの大切さも知っています。これからの日本をになっていく者として、この大学で成長していきたいと考えています。

都留文科大学には全国から学生が集まってきます。勉学に励むと共に、部活動やサークル活動などを通じて多くの人々と交流を深め、様々な経験を積んでいきたいと思っています。

学ぶ機会を得られたことに感謝し、自信と誇りを持って歩みを進め、日々成長していくことをここに誓い、新入生のことばといたします。

フランダースの犬を 知っていますか

都留文科大学学長 福田誠治



この度、晴れて都留文科大学に入学なさった皆さん、おめでとうございます。この良き日に、都留文科大学の教員と職員を代表して、お祝い申し上げます。また、この日を待ちわびていらっしゃるご家族の皆様にも、心よりお慶び申し上げます。家族の期待を担ってきたお子さんたちも、きっと感謝の思いを持っているものと推測いたします。今から、新入生の皆さんに大学で学ぶ心構えのようなものをお話しいたします。それは、自分の知りたいと思う心を大切にして、楽しく学んで欲しいということなのです。

皆さんは『フランダースの犬』というお話しを知っていると思います。日本人なら誰もが泣いた、とも言われる児童文学作品です。実は、ミスマッチとも思える非常に不思議なつながりの中でこの物語は日本人に感動を与えてきました。

作者はイギリス人作家ウィーダ（Ouida）で、この本は1872年に出版されました。

大の愛犬家で動物愛護協会の設立に尽力したウィーダは、1871年にベルギーを旅行し、イヌが虐待されている様子に心を痛めます。作品には、主人公ネロと彼が助けた愛犬パトラッシュが住む貧しい農村と、豊かな都会であるアントワープ、そこに住む裕福な人たちが対比されて描かれて

います。

この頃のイギリスはようやく工業の中心地にのし上がりますが、その前は囲い込みで羊毛を輸出する原料国であり、アントワープはそれを毛織物に加工する工場がある都会でした。それだけではありません、世界の大半のダイヤモンドを加工し取引する商業地にもなります。

ウィーダは、この物語で、富や名声に囚われて人間性を失う都会人に向かって、キリスト教の精神から悔い改めよと迫ったに違いありません。

ウィーダは、晩年を過ごしたイタリアで1908年に亡くなります。ニューヨークタイムスでこの死亡記事を読んだ日本人外交官が名作だと広めたので、最初の日本語訳はまさにこの1908（明治41）年に出ています。その後、1929（昭和4）年の菊池寛の訳が、1954（昭和29）年には村岡花子訳が出ていて、日本では世界の名作として定着しています。

現地ベルギーでは、この物語は誰も知りませんでした。説明しても、そんなむごい話など知りたくないという反応が返ってきます。確かにこのストーリーは、どう考えても変です。おじいさんとともに、貧しく、慎ましやかに暮らしていたネロ少年の話です。彼は、絵が好きで、貧しいながらも画家になることを夢見ています。ついには、彼を理解してくれるアロアという少女も現れます。未来に希望が見えたかと思われる矢先、突然、おじいさんが亡くなります。彼が助けたパトラッシュという犬とともに、牛乳運びを引き継ぐのですが、娘との交際をきらった少女の父である金持ちのだんなに邪魔をされます。アロアの家が火事になり、犯人の疑いもかけられてしまいます。村人も彼を避け、仕事を頼まなくなり、失意のどん底に追いやられます。やっと書き上げた絵も、いかさまの審査に遭って展覧会は落選し、憧れのルーベンスの絵がある



ノートルダム大寺院の前でとうとうさびしく死んでいくという話です。

なぜ日本人は、こんな物語を名作として語り継いだのでしょうか。

作品を最初に映画化したのは、ハリウッドで1914年のことです。アメリカ人のことですから、ハッピーエンドに仕上げられます。次に映画化したのは、ロシア革命後のソビエトでした。資本主義社会の悲劇を描くのは当然でした。日本で大ヒットしたのは、テレビの影響です。毎週日曜日の夜19時30分より家族が揃って見る『世界名作劇場』で、そのスタートが1975年に1年間放送されたこの『フランダースの犬』

だったのです。おそらく、貧しいながらも、不幸な境遇の中でも、家族が助け合って、ひたむきに生きるというメンタリティーが共有されたものと思われまゝ。短編小説が連続テレビ番組になるわけですから、日本人好みなエピソードが新たに組み入れられたのは確かでしょう。

ドキュメンタリー映画『日本製フランダースの犬』(A Dog of Flanders -made in Japan- A Documentary)、この作品はYou Tubeで視聴できますが、この作成者たち(観光学を学んだデ・フロイター Didier Volckaerts と映画監督のヴァン・ディーンデレン An van. Dienderen)の取材によると、スポンサーである飲料メーカー(カルピスですが)のオーナーがキリスト教徒で原作通り「あの世で幸せになるのだ」というエンディングを決めたということです。かくして、ルーベンスの「キリスト昇架」と「キリスト降架」の絵を見上げながら、「マリア様ありがとうございます」「パトラッシュ、おまえはいつも僕と一緒にだね」といながら愛犬を固く抱き締めてクリスマスイヴに昇天するというストーリーになります。

「力の限り生きたから 未練などないわ 花さえも咲かぬ 二人は枯れすすき」というのは演歌の一節です。

日本は豊かになり、このアニメを小学校時代にテレビで見た女子短大生たちが卒業旅行にベルギーに押しかけることになります。面食らったのは現地の人たちです。能面で無表情だと聞いていた日本人たちが涙を流す姿を目の当たりにして、カルチャーショックを受けたとベルギー人は回想します。とうとう観光局の人たちの努力で、1986年にはハーボークン(Hoboken)にネロとパトラッシュの銅像が、2003年にはアントワープ・ノートルダム大聖堂前の広場に記念碑が設置されました。

さて、最初のテレビアニメ番組は、1969年の『ムーミン』です。作家のトーベ・ヤンソンは原作を損なうという理由でテレビ化に反対しました。



それからおよそ30年、再放送が繰り返されていましたが、視聴率が落ち込み、ついに1997年3月にアニメ『世界名作劇場』の放送は中止されました。バブルがはじけ、ひたむきな努力の時代の終わり、日本人がある種の心情を喪失した新たな時代の始まりを告げていたからです。子どもたちも、転換の時代に何かが失われていくことを感じ取っていたものと思われまゝ。皆さんは、この直後にこの世に生まれてきたのです。

オランダ系の白人であるボーア人が支配する共和国を1880年に英国が襲います。この隠れた目的は南アフリカ、キンバレーのダイヤモンドとトランスバールの金の支配にありました。「夜空の星をも併合したい」と豪語した大英帝国のセシル・ローズが、ロスチャイルド資本を後ろだてにしてデビアス鉱山会社を設立し、1888年にはキンバレー鉱山を合併してしまいます。デビアス社は19世紀末には当時のダイヤモンド生産地の9割以上を握ります。このデビアスグループをアントワープの研磨職人たちが支えます。ベルギーは19世紀より希少金属の宝庫コンゴを領有しただけでなく、第一次世界大戦後には隣国ルワンダを統治下に入れ、仲良く暮らしていたツチ族とフツ族の対立を演出し、この結果が1890年から93年にかけての内戦となります。むごいことを嫌ったベルギー人が、です。これが現実の歴史なのです。

さて、皆さんは、今日から大学生です。受験の知識に縛られて本来の学びを失ってきたこの時代に、自らの学びをぜひ取り戻して欲しいと思います。疑問を持ち、想像し、知識と知識をつなぎ、探究する学びを求めてください。また、4年間かけてじっくりと自分の人生を振り返り、かつこれからの人生を展望しながら学んで欲しいと思います。それを都留文科大学が応援していきます。頭の中に人生という地図を描き、探究する力、学び続ける力をぜひ伸ばしていただくことを願って、お祝いの言葉といたします。

新学部と新学科のスタート

本学は、大学創設以来の大きな制度改革をしました。それは、理系の教員免許の取得を可能にするために文学部と並んで教養学部を新設したことです。学校教育学科は、初等教育の名を外しましたが、あくまでも小学校教員養成にこだわり、学校教育学科に開設される教科の免許も中学校までと限定しました。これは、国立大学の教員養成が、小学校教師養成と中・高等学校教師養成とに分裂してしまっていたことに対する反省からきています。小学校教師は、全教科を担当するので、総合的な視野が養われます。これは、とても魅力的なことで、学際的な視点が求められる今日、学生の皆さんにはとても貴重な能力形成になるはずです。教養の土台が高ければ、教師以外の道にも対応できます。同時にまた、教育学部としなかったのは、「人間探究の大学」という本学の伝統を守り続けようとしたためです。

本学の学生は文系と自覚する若者が多いのですが、なぜ文系なのかと問えば、たいてい「算数ができなかった」「数学が嫌いだった」という答えが返ってきます。したがって、「算数が好きになる教育」とか「そうだったのかと感動する理科の授業」とかと、入学後の若者に発想の転換を迫る大学になるべきだと思います。正解を覚える勉強から探究する新しい学びへと誘う学科に、力強く乗り出していった欲しいと思います。

地域社会学科は、30年前の初心に返って、具体的な地域の課題と格闘しようと作り替えました。というのは、最初は「文学部地域社会学科」として申請しましたが、当時の文部省はこれを認めてくれませんでした。皮肉なことに、グローバル化が進めば進むほど、地域の問題が無視できなくなってきました。新学習指導要領で「現代社会」という科目が40年ぶりに廃止されるのも、このような流れの中にあります。近代とか現代という言葉でひとくくりにはできない独特の質があちこちに残っていて、存続の危機にあるということが一点。独特の質を国境を越えてつないでいくと、無視できぬ価値あるものとして存続していけるというのが二点目でしょうか。つまり、地域の問題を地域を越えることによって解決していくという手法が、今実現されつつあるということです。

中央政府と対抗する地方自治とか、いつでもどこでも通用する社会科学というような教科書的学問観ではなく、PBL（problem でも project でも）という現実の経験的な学びを、異なる地域や国境を越えて交流し組み合わせることで、これまでの不可能を可能にする方法が生み出されるものと思います。地域社会学科の教員と学生なら、新しい学びを切り拓いていくだろうと期待しています。

1年早く新しい学びに切り替えた国際教育学科では、いよいよ北欧との交換留学が実施されます。日本人学生52人には、ERASMUS+というEUのプログラムが適用され、EUの財源で交換留学が受け入れられます。また、語学力はCEFR（セファール、ヨーロッパ言語共通参照枠）B2と指定されています。語学力は、general competenceとcommunicative language competenceに大きく分けられ、前者はknowledge、skills and know-how、existential competence、ability to learnから、また後者はlinguistic competences、sociolinguistic competences、pragmatic competencesから成り立っています。テストのための学びとは異なる能力観が要求されていますが、スマホ世代は、アクティブ・ラーニングにどんどん適応しているようです。

国際教育学科は、グローバル・エデュケーター、つまり人を育てる仕事の専門家という職業を開拓しつつあります。調べ、起案・提案し、討論の中で合意を取り付け、チームワークをリードし、成果を出していくというグローバル・コンピテンスの育成はどの学科でも必要になっているのですが、国際教育学科はそれをいち早く取り入れています。世界に通用するこのような学びが、都留文科大学全体に広がっていくように大学の将来を定めていきたいと思います。本学のこのような改革の方向は、社会的にも評価されており、学生の皆さんも未来に向けて新しい学びを始めてください。

（都留文科大学学長 福田誠治）



新学部・新学科が スタートして

学校教育学科長 寺川 宏之

平成30年4月に文学部初等教育学科を基礎として教養学部学校教育学科が開設されました。この改組は、新しい初等教育学科の創造を模索する中、平成25年3月末に初等教育学科改革案を「都留文科大学の今後の在り方検討委員会」へ提出したところから始まります。その後、特別支援学校教員免許課程の開設準備を進めながら、平成28年1月に学科改革に関する最終案をまとめ、

- (1) 特別支援学校教員免許課程新設への対応
- (2) 小中一貫教育及び義務教育学校への対応

(3) 中学校理科教員免許設置のための学科名称の変更

(4) 都留における21世紀型の教員養成への取り組み

などを、今後10年間の主要な計画として、その実施に向けて動き始めました。そして、特別支援学校教員免許課程が平成29年4月に開設されました。また、小中一貫教育及び義務教育学校に対応するため、小学校から小中学校の教員養成へと方針を転換し、中学校理科・数学教員免許課程の開設とともに、学部・学科名称を「教養学部学校教育学科」と改めました。学校教育学科は本学ホームペー

ジ上に挙げられた下記のディプロマ・ポリシーを基に設置されています。

学校教育学科は、本学の小学校教員養成が伝統としてきた人格の育成と深い子ども理解、学童期から思春期における子どもの変化過程への理解を理念とし、教職に対する高い使命感と確かな教育観・子ども観を身につけた、6つの資質・能力（ホームページ参照）をもつ教員の養成を目的とします。

このディプロマ・ポリシーに従う、カリキュラム及びアドミッション・ポリシーを基礎に、学校教育学科は引き続き「都留における21世紀型の教員養成」の実現に向け、サイモンフレイザー大学（カナダ）への国際教師教育プログラムの充実や真のグローバルISTの育成など、今後も不断の改革に取り組み、挑戦していきます。



地域社会学科 スタートにあたって

地域社会学科長 高田 研

4月4日、171名の新学科1期生の皆さんを全国からお迎えして、地域社会学科がスタートいたしました。6日には学科オリエンテーションを音楽棟ホールで開催。“エンタ（円卓）くん”という円形ダンボールに円形模造紙を乗せた話し合いのための簡易テーブルを膝の上に置き、オリター（オリエンテーションの助っ人）に協力してもらいながら、小グループで和気あいあいと、新しい仲間との出会いの時間を持ちました。

新学科はこれまでの社会学科に「地域」をつけてマイナーチェンジしたわけではなく、教養学部という新たな学部に新学科を設立し

ました。この構想には、学科の未来を背負って立つ若手の教員を中心に、新しい視座から2年間議論を重ねて準備してまいりました。その成果として本年度入試の中期試験では、前年度の約1.4倍に当たる458名の受験者数（倍率4.05倍）となり、対外的にも順調に滑りだしております。

新学科のコンセプトは「国際的な視野と地域での実践を重視した教育」です。地域で実践するために最も重要なことは多様なステークホルダー（利害関係者）と協働するための技術です。

1年次では現在、研究分析の基礎となるアカデミックスキルズの

科目と共に、「協働のためのコミュニケーションスキル」や、様々な社会的な領域を想定し、協働の場面を再現する「ワークショップ演習」という科目を開講しています。このような下地の上に立って、2年次からは新学科の科目が順次開講し、これから3年間で完全に学科再編が完成します。また15名の学科教員のうち5名は新学科開設のためのニューフェイス。国際、企業、まちづくり、地域史、環境とそれぞれの専門領域を充実させております。

勿論これまでの社会学科で築いてまいりましたカリキュラムで、残すべきものは引き継いでいきます。また2年生以上については、社会学科としてのカリキュラムが卒業まで維持されますので、ご安心下さい。

これまで同様、地域の方々にもご協力いただきながら、生まれ変わりました新学科を育ててまいりたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

新 教 員 紹 介

文大に着任するにあたって

着任にあたって

今年4月、教養学部学校教育学科に着任しました廣田健（ひろた たけし）です。都下多摩育ちで、前任校が北海道釧路市にあったこともあり、緑豊かなこの都留市に寓居を構えますとまるで故郷に戻ったかのような気がいたします。

教育法・教育行財政を専攻しており、地域づくりと学校づくりの関係を研究しております。前任校の北海道教育大学では、その中でも複式授業を中心としたへき地小規模校・郡部での学校と地域の関係を、学校行事や地域教材づ

学校教育学科 教授 廣田 健

くりを通じてどのように構築すべきかを考えておりました。授業の主たる担当は教育関係法規です。前任校の北海道教育大学では、これ以外にへき地校体験実習や学校支援関係の科目を担当していたことから、教師教育にも興味があります。

本学も教職実践センターを中心に実践的教師力の養成に力を入れ、沢山の成果を上げていると伺っております。先達に学び、私も微力ながら、そのお手伝いをさせて頂きたい思います。



次代を担う優れた教員の養成を目指して

学校教育学科 准教授 新井 仁



学校教育学科に着任しました新井仁です。長野県内の教諭、国立教育政策研究所学力調査官、長野県総合教育センター主任指導主事の勤務を経て現在に至ります。学力調査官としては、主に中学校数学の学力調査に関わり、調査結果から授業改善の視点を探り、どのようにすればよいのか日々考え続けました。専門は数学教育学、特に数学的モデリングに関することに興味をもっています。算数・数学は、答えが出てからが本当の学び！難しい

から面白い！そんな思いを常に抱いています。次代を担う優れた教員の養成を目指す本校で、算数・数学の面白さ、奥深さ、そして教えることの難しさと歓びについて、学生が体験的に学び、高い専門性に裏付けられた実践力を身に付けて欲しいと願い、まずは自らが日々勉強！と思っています。趣味は写真。富士山の麓、自然豊かなこの地で、カメラを抱えて写真撮影のドライブに出かける…そんな楽しみもあるのかなと密かに期待しています。

世界を広げる出会いを文大で



学校教育学科 准教授 瓦林亜希子

2018年4月より、学校教育学科に着任致しました瓦林と申します。専門は日仏の子ども主体の教育における教育方法の歴史や思想・哲学に関する研究です。その中でも、仏のフレネ教育に強い関心を持っており、日仏両国におけるフレネ教育の実践現場を数多く訪れてきました。前任校は石川の北陸大で、教職課程の授業や仏文化・EUに関する講義を担当していました。もとは仏文学専攻でしたが、子どもの声を柱に主体的な学びを構築していくフレネ教育の存在を知ったことから教育学研究の道へと入り、仏

の大学院で博士論文と格闘する日々を長く送っておりました。思えば、こうした日仏の教師の方々や子どもたちとの様々な出会いが、自分を育て後押ししてくれ、伝統ある都留文科大で働く機会に繋がったのだと感謝しています。今度は、文大の学生さんたちと日仏の教育学を共に学ぶことを通し、皆さんが少しでも世界を広げそれぞれの生き方を見つめ直すきっかけと出会えるよう、日々の教育・研究をさらに深めていきたいと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

着任のご挨拶

2018年4月、学校教育学科に着任いたしました武蔵由佳です。専門はカウンセリング心理学です。学級集団づくりに関わる内容、学校で起こる様々な問題（不登校、いじめ、非行、学級崩壊など）に関わる内容、児童生徒の心理社会的発達に関わる内容について研究しています。授業担当科目はカウンセリング、教育心理学、発達心理学などです。

3月までは、岩手県にある盛岡大学で教職志望の学生に心理学を教えていました。また、高校や大学のスクール

学校教育学科 准教授 武蔵由佳

カウンセラーとして、生徒・学生が不適應にならずに、充実した学校生活を送れるようサポートする仕事もしてきました。

盛岡大学に赴任する前は、都留文科大学で非常勤講師をしており、8年ぶりに都留に戻ってきました。都留文科大学は勉強や研究をするにはとてもよい環境だと思います。初心に立ち返り、学生の皆さんと共に研究や実践、教育活動に励みたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



理科教育のこれからを考えましょう



学校教育学科 特任教授 山田暢司

公立高校に化学教諭として長らく勤務し、特に身近な素材を活用した教材や興味関心を学力向上につながる実験指導の開発に関わってまいりました。その間、理科教育をめぐる諸課題（こどもの生活体験不足や理科離れ等）に触れる機会が豊富（？）にあり、諸々の施策や現場努力にもかかわらず、状況は必ずしも芳しくないという認識があります。例えば、利便で快適な環境に育つこどもが増え、手先を使って工作をしたり、他者と協働して

観察をする機会が乏しくなっていることは、多くが認めるところでしょう。このところ指導要領改訂におけるアクティブラーニングへの着目やあらゆるものが自動化するAI時代の到来などのキーワードを目にすることが多くなってきました。しかし、身近なところにも理科教育のこれからを考えるヒントが隠されているかもしれません。そういったヒントとなるものを探し出す気持ちで、一緒に学習活動ができることを楽しみにしています。

着任のあいさつ

学校教育学科 特任准教授 山中 聡 恵



今年度から開設された学校教育学科で数学を担当します山中聡恵です。これまで奈良県の私立中高一貫学校に3年間数学教員として勤め、その後奈良県の大学で数学と物理が連携した学科で、物理実験・数理モデル・計算機シミュレーションなどにおいて、数学教員と物理学教員が一体となって学生指導を行ってまいりました。また、有志学生と共に中学生向けの数学・物理実験教室を開催し、イベント運営や授業を学生が主体となって行えるよう、指導を行ってまいりました。

学部では数学教育、大学院では解析学が主専攻でした。学部卒業とともに教員になる予定でしたが、授業内外で小中学生に授業を行う中で、良い授業・教材作成の為に教員側の豊富な経験と知識が必須であることを痛感し、大学院から必死に数学を学びなおしました。本学においても学生の皆さんが主体的に学び、色々なことに興味を持ちチャレンジしてもらえよう努めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

教師になってから生きる、求められる力を

学校教育学科 特任教授 滝井 章

今年度より開設された教養学部学校教育学科で特任教授として教員養成に携わることになりました。東京都の公立小学校現場及び東京都教育委員会に25年間勤める中で、算数授業の目的や指導法、そして算数授業を含めて小学校教員として求められる学級経営力、児童理解の仕方などを子どもたちとの日々の中で学び、教師力を高めてきました。また学習指導要領解説算数編作成協力委員、NHK教育テレビ「わかる算数」シリーズなどへの

出演、本や教科書の執筆、教育委員会や小学校における講演、師範授業などを通して、全国の小学校の教育力向上に努めてきました。

今年度からは、文大の卒業生として、後輩にあたる文大で学び教員になる学生に、教員になってから「ためになった、役に立った」と思ってもらえる学びを提供していきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



就任のあいさつ —本質探究の学びを目指して

学校教育学科 特任准教授 草津 祐 介



学校教育学科に今年度より特任准教授として着任しました草津祐介と申します。これまでも非常勤講師として書写演習を担当しておりました。昨年までは一限から怒涛のように連続で授業をしていましたが、今年は四限、五限を中心にのんびりと書写教育関係の授業を担当することになります。

私は、主に中華人民共和国の近代から現代に至る書写書道教育の研究を日本との比較を通して進めております。これからの激しく変化する教育環境の

なかで、国語科書写は如何にあるべきか、今後、変化するべきことについて、私自身の研究を通して常に考え、さらに授業等を通して皆と共に考えていきたいと思ひます。

大学での学びは本質探究が重要だと思います。本質探究への思考は、社会にでても役立つ能力になるであろうと考えています。授業を通して、本質探究への深い学びをこれまでの授業を省察しながら考え、実践していきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願いいたします。

着任にあたって



学校教育学科 特任准教授 谷合 弘行

今年度から学校教育学科に着任いたしました、谷合弘行と申します。専門は数理統計学で、様々なモデルに対する統計的有効推測を中心に研究しています。学生時代は外国語学部からスタートして、経済、工学を経て、留学先のベルギーで理学博士を取るという紆余曲折を経験しました。ディレタントという表現で正しいかは判りませんが、たとえ浅くても広く関心を持つことに意義を感じているのかもしれない。

私が担当する統計学も広い応用を持っていますが、それ自体は現象に与える我々の解釈に関する方法論です。こちらの学生さんやその生徒となる子供たちが世の中にあるたくさんの違いや一致を見つけると同時に、それを観測している自分自身にも目を向けられるような技術と感性を育むお手伝いができたらと思っています。よろしくお願いいたします。

プログラミングの勧め

学校教育学科 特任准教授 吉岡 卓

今年度、学校教育学科に着任しました吉岡卓です。専門は情報科学の知識情報処理・自然言語意味論です。

コンピュータに一連の指示を与えるものをプログラムと呼びます。このプログラムというものは私達の話す言語のように、アルファベットと構文規則からなっており、プログラミング言語と呼ばれます。そのため、プログラミングを学ぶことは、一見、私達が他の言語を学ぶかのように思われています。

しかし、例えば誰かに指示（処理をお願い）するとは、自ら指示（処理

することの意味を考えて切り取り、論理的思考を用いて、場合によっては効率的なアイデアを与える事です。

つまり、プログラムを学習するということはこれらの能力を身につけ、自らの問題解決能力を鍛えることを意味します。その経験が探究心につながるという事の楽しさを、体感してもらいたいと考えています。

読み書きそろばん（算術）＋プログラムの意義を、多くの学生に楽しんでもらえるよう心がけていきたいと考えています。



グローバル化へ向けた大学教育の取り組み

地域社会学科 教授 春日 尚雄



新設された地域社会学科に2018年4月に着任し、国際経済学などを担当しています春日尚雄です。専門と研究領域は、東南アジア（ASEAN）経済と交通インフラを中心にやってきました。今や日本企業の平均で見ると、売上、利益共に約40%を海外に依存しており、日本以外の国に無関心ではいられませんが、大学教育の世界においては学生の指向が以前よりむしろ内向きになる傾向があることは残念に思います。経済のグ

ローバル化が否応なしに進む中で、日本の独自性を守っていくには、学生のうちから世界のスピード感と地域の良さを生かす知恵の、両者のバランス感覚を学ぶことが重要かと思います。当大学の学生は極めて真面目で、かつ理解力の高いことが大変大きな強みです。外にも目を向けることで多様な人材が輩出できるようになれば、こんなに嬉しいことはありません。

地域に学び、地域から考える



地域社会学科 教授 鈴木 哲雄

教養学部地域社会学科の地域史担当として着任いたしました鈴木哲雄と申します。3月までは、北海道教育大学に勤めておりました。

千葉県出身で、14年前までは千葉県などで高校の教員をしながら、中世東国の地域史研究や地域史学習の教材作りなどに取り組んできました。北海道でも多くのことを学びましたが、今後は、山梨県にも範囲を広げながら、学生の皆さんとともに、地域史研究の観点から「地域に学び、地域から考える」

ことをすすめて行こうと思います。

地域社会学科の同僚の皆さんにご指導いただきながら、「地域で活躍できるグローバルな視点を持った人材を育成」することに関わって行けたらと考えています。微力ではありますが、どうぞ、よろしくお願いいたします。

社会に向き合える人に

地域社会学科 准教授 鈴木 健大

の4月より地域社会学科に着任しました鈴木健大です。この3月までは、香川大学でプロジェクト型授業を多く担当していました。島嶼部の定住促進、シャッター商店街の再生、無人駅や廃校の地域利活用、さらには鉄道会社と連携した新しい観光プランの策定などに大学生や地域のみなさんと共に取り組んできました。

私は山梨県の出身で、山梨で生活するのは高校以来になります。しかし、記憶に残るかつての姿とは異なり、山

梨も四国も人口流出・少子高齢化が加速度的に進む課題先進国といえるでしょう。私の好きな言葉の一つに「半学半教」があります。みなさんと共にプロジェクトを社会に実際に興しながら、これからの社会・公共のあり方を考える教育・研究をしていきたいと思っています。みなさんが社会の課題を見つけ、それに立ち向かうことができる、そんな成長に向けた機会をつくっていききたいと思っています。一緒に学びとチャレンジの歴史を作っていきましょう。



地域と国際政治



地域社会学科 講師 玉置 敦彦

2018年4月より、地域社会学科で国際政治学を担当しております玉置敦彦です。同年3月までは、東京大学政策ビジョン研究センターにて特任研究員として勤務しておりました。非常勤で多くの大学で講義を担当いたしました。専任としての着任ははじめてとなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。アメリカにてBoston UniversityとYale Universityに留学し、また笹川平和財団にて国際交流事業を担当しておりましたので、そうした経験も生かせればと思ってい

ます。

専門は同盟論で、特にアジア太平洋地域におけるアメリカの同盟を中心に研究を進めております。もしかしたら意外に思われるかもしれませんが、大国アメリカと、それに向き合う中小国の非対称な国際関係では、中小国の地域の人々の声や運動が、しばしば同盟関係そのものを揺るがす大きなうねりへと発展していくことがあります。こうした地域と国際関係のダイナミズムを、都留から考えていきたいと思っています。

就任のあいさつ

英文学科 教授 コーラ・オラグボイエガ



コーラ・オラグボイエガと申します。私はナイジェリア出身のイギリス人です。専門は英語学、応用言語学、世界英語です。都留文科大学へ着任する以前は、秋田県の国際教養大学に7年間、山梨学院大学に4年間勤めていました。また来日する前は、イギリス、サイプロス、オマーンで英語学を教えていました。私は4つの高等教育機関を終了しました。ナイジェリアの大学で英語教育を学び奨学金を受けケンブリッジ大学の英語と応用言語学の修士号を取得しました。その後もイギリスで、シェフィールド大学の博士号を取得し、グリニッジ大学院の教

員養成課程を終了しました。これからは、都留文科大学で、学生がより高度な英語運用力を身につけることをサポートし、常にクラスの雰囲気をもくして学生たちが自信を持って学習に取り組めるように配慮していきます。私は現在日本語を学んでいます、日本語はとても難しいです。しかし、都留文科大学のやる気に満ち溢れた学生たちから刺激をもらいながら私も日本語の勉強に励みたいと思います。私の趣味は読書、サッカー、カラオケです。2016のNHK山梨県ののど自慢にも出場しました。どうぞよろしくお願い致します。

後継者へのバトンタッチ

英文学科 特任教授 萩原 一郎

2018年4月に英文学科に着任しました萩原一郎です。この3月末まで英語科教諭として神奈川県立高校に38年間勤めていました。合計6校で勤務しましたが、1学年12クラスの大規模な新設高校、複数専門コースをもつ高校、総合学科高校など多様な高校で貴重な経験を積んできました。どちらかという、主に英語を苦手とする高校生たちと歩んできた38年間で、新任1年目から授業がうまく運営できなかったことがきっかけで、さまざまな民間の英語教育研究会に参加するようになり、そこで出会った授業

実践や先生方に支えられて何とか定年まで続けることができました。

4月からは英語教育関係の授業をいくつか担当して、意欲的な学生たちと楽しく学んでいます。「教科書や専門書にはこう書いてあるけど、現実の中高校生はそれでは動かない。こんな働きかけをすると、関係づくりが進んで一緒に授業をつくっていける。」そのような現場教員の経験と感覚をさまざまな場面で教員志望の学生たちに伝え、多くの後継者を育てていければと希望しています。



着任のあいさつ

情報センター 特任准教授 小河智佳子



2018年度より、情報センターに着任いたしました小河智佳子と申します。専門は、教育の情報化、情報教育、教育に関する制度・政策です。前職は、東洋大学経済学部にて非常勤講師として、ICTの進展と社会経済の変化に関する講義や、コンピュータ演習を担当しておりました。また、主な研究として、自治体規模では全国で初めて児童生徒一人一台にタブレット端末を貸与した、佐賀県武雄市のICTを用いた教育の分析調査を実施し、教育の情報化を取り巻く課題や今後に向けた提

言を行っています。

2020年度には、学習者用デジタル教科書の導入が始まります。教員を目指す学生や免許を更新する方々に、研究内容を活かした授業・講習を提供できるよう努めてまいります。また、ICT利活用力は、社会人になるにあたり必要なスキルのひとつです。文大生の皆さんが、社会に出ても対応できる力を身に付けられるよう、授業を行っています。

どうぞよろしくお願い致します。

教職のよろこびと生きがいを…



教職支援センター 特任教授 泉 宣宏

都 留文科大学にやってきて数日して…、構内を横切るハクビシンを見かけました。東京の文京区で、子どもたちとムラサキハナダイコンが咲いているところ、タヌキと出会った地点を地図に書き入れたことを思い出しました。そこに坂道が見えてきたのです。坂の町から都留へ…、新しい地域の自然や人々の暮らしとの出会いにワクワクしています。

東京の板橋と文京で38年間、小

学校に勤務してきました。子どもたちの絵や作文をのせた学級通信を読み合うこと、読み聞かせや工作を楽しむことを続けてきました。たっぷりとゆたかな子ども時代を…と願ったのでした。教職支援センターでは、自らの歩みを振り返って問い返ししながら、子どもたちの成長・発達を保障する教職員としての喜びと生きがいを学生や卒業生と分かち合い、確かなものにする活動を進めます。どうぞ宜しくお願いいたします。

笑顔で子どもたちと向き合える教師の育成に向けて

教職支援センター 特任講師 小 俣 一 夫

今 春より教職支援センターに着任いたしました、小俣一夫です。3月までは山梨県内の小中学校に38年間勤務してきました。これまでの経験が将来教師を目指す学生の皆さんにいくらかでも役に立てたらと考え、4月から新しい仕事に日々奮闘しています。

今、教育を取り巻く状況は日々めまぐるしく変化しており課題も山積しています。しかし、いつの時代でも学校現場においては、一人一人の子どもに目を配り、授業のねらいに即した教材研究と指導法の工夫を怠らない教師に

よって、子どもたちは一生懸命に目を輝かせて学習に取り組みます。そういう子どもと、そういう教師がいて学力は向上します。教師は子どもが学力を一步でも、二歩でも向上させれば張り合いを増し、さらに授業力を磨こうと研修に励みます。教師にとっては非常に難しい時代ですが、教育の本質を見失うことなく、子どもたちの生きる力を育成するという大きな使命に向け、学校現場で笑顔で元気に子どもたちと向き合える教師の育成に努めていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。



着任のご挨拶

語学教育センター 特任教授 高 橋 雅 子



2 018年4月より語学教育センターに着任いたしました高橋雅子です。留学生対象の日本語科目と日本語教員養成課程の科目を担当しています。私は大学で日本語教育を学び、卒業後すぐにベトナムに渡り、日本語学校で日本語を教え始めました。バイクに乗って校舎間を移動したり停電した教室でロウソクの灯りの中で日本語を教えたりしたことはいい思い出です。日本に帰国後、日本語学校や専門学校、大学で日本語教育に携わってきました。ひらがな

も読めず日本語の挨拶もわからなかった学生が、日本語を学んでいく過程で漢字が書けるようになり敬語を使って話せるようになる成長が見られることは、とてもやりがいを感じる仕事だと思います。都留文科大学でも留学生には日本語を学び使う楽しさを、日本語教師を目指す学生の皆さんには日本語教育の楽しさと大変さとやりがいを伝え、学びの多い充実した時間を過ごしたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。



エレナ音楽大学にて
クリストファー教授・学生たちと



中南米・カリブにおける 自文化の源流とラテン・ アフリカ文化との融合を覚る

学校教育学科教授 清水 雅彦



世界遺産の街
アンティグアにて

JESUS MARIA ALVARADO 校（グアテマラ国立音楽教員養成学校）研究員としての受け入れの中、世界遺産の街・アンティグア（グアテマラ共和国）を滞在の本拠地とした昨年度後期の学外研究を終え、多くの糧を得たことはもちろん、今後さらに研究を重ねる上での基幹が定まった思いです。大学改編の最中であって、まずはこうした貴重な時をお与えくださったことに感謝申し上げます。

15 世紀から始まったスペインとポルトガルの航海上の勢力争いに一役買ったのは、カトリック・イエズス会の布教活動でありました。そして今も伝統的な民族衣装を着た人たちが教会で敬虔な祈りを捧げる姿が日常にあり、丁度クリスマス、年末年始、カーニバル、聖週間という重要な儀式・音楽に研究期間中に触れたのは幸運でした。またグアテマラ国内はもとより、プエルトリコ、コスタリカ、コロンビア、ボリビア、メキシコ 5 都市（プエブラ、オアハカ、グナフアト、ケレタロ、サンミゲルアジェンデ）を巡り、多くの指揮者、合唱団、音楽家、さらには様々なフェスティバルの主催（主宰）者や大学など研究機関のディレクター、教授陣と直接お目にかかり音楽事情調査ができたこと、多くの楽譜、資料、音源を持ち帰れたこと、そして重厚な交友関係が作れたことは誠に幸せでした。

また、コスタリカ・エレーディア音楽大学で優秀な合唱指揮科の学生に「日本文化と合唱事情」をテーマ

に講義を、ボゴタのコロンビア大学では声楽の公開レッスンを行い、学生たちの高い資質と優れた技術、教授陣の妙々たる方向性とさらに向上したいという熱意を強く感じられたことは、正に身が引き締まる思いでありました。こうした講義・講習の後には私のためだけのレクチャー（国や民族の文化や音楽の背景、現在の興隆など）が教授陣からあり、ヨーロッパの一時期からの音楽の流れを追求するのみである日本の音楽教育の狭義なシステムを再考するきっかけともなりました。

ボリビアのサンタクルスでは「Inicia Festival de Música Renacentista y Barroca」（ルネサンスとバロック音楽の誕生祭）を企画・運営する事務所で主宰者に話を伺い、本番前のリハーサルを拝聴しましたが、民族音楽での想像は難しくないボリビアにあって、先に記した制圧の時代にすでに優秀な作曲家が存在していたこと、その軌跡を音で実際に聴く中で、音楽がこれまで重要かつ有用な歩みを遂げてきてことを再認識いたしました。

この学外研究期間は発見と感動の連続でありましたが、今後さらに幅広い視野で音楽を眺め、そこに内在する様々な思いを深く見つめながら新鮮に音楽に立ち向かえると感じています。もちろんここで得た多くの糧を今後の研究、活動、教育に活かしていきたい、そうした思いの中に今自分が在ることに感謝し、ご報告とさせていただきます。



窟窯焼成の様子



オープンな場で高めあい学び合う

学校教育学科教授 鳥原正敏

私は平成29年度の一年間、東京藝術大学美術学部工芸科陶芸研究室に研究員として在籍、陶芸について学びました。

我が国は古来より工芸が盛んです。陶芸は伝統工芸の一つとして発展、日本の陶磁器は世界から高い評価を受けてきました。また「工芸」という考え方は、日本人の感じる“よさや美しさ”などの価値観と深くつながっていると思います。

本研究の目標は、基礎的な轆轤技法の習得でした。そのために私は、学生の皆さんと一緒に毎朝八時半から夕方六時まで制作に励みました。轆轤技法を習得するためには、粘土を練る技術や土に関する知識、焼成経験が必要です。また、轆轤には言葉では言い表せない“コツ”があります。たくさん失敗しながら考え、自分なりの方法をつかみ取っていかねばなりません。私も先輩方の様子を参考とし、悪戦苦闘しながらも何とか皆さんに「普通に挽けるようになりましたね」と、評価いただけるようになりました。

これと併せて、伝統工芸の専門家を育成する陶芸研究室において、どのように“人”を育てているのか、についても考えてみました。日本人は古代より“ものづくり”の中で人を育ててきた民族です。その一方、「伝統工芸」と聞くと閉鎖的で気難しいイメージもあります。しかし、陶芸研究室の皆さん(学生と教員)は、

「互いに高めあう」という意識を強く持っていました。また教員が、気づかれないように、学生を学び合いに誘う様子も見ることができました。そのおかげで私も、オープンな雰囲気の中で皆さんとたくさん学び合うことができました。これは、本学の活動においても参考になる経験であったと考えています。

本研究中、最も印象深い出来事は、窟窯焼成に参加したことでした。「窟窯」とは、日本で最も古い様式の薪窯です。焼成作業は、薪割からはじめて一週間以上かかります。四日間、不眠不休の作業もあり、肉体的にも精神的にも極めて厳しい作業ですが、得られた作品には特別な想いが宿ります。燃料である薪は相当な量を必要とします。古代において、「やきもの」がいかに貴重なものであったのか、実感するとともに、深く理解することができました。

東京藝術大学工芸科陶芸研究室には世界中から学生や研究者が集まり、また入試も難関です。こういった中で、貴重な轆轤台を与えられたことは望外の出来事でした。研修をご快諾頂いた豊福誠教授、三上亮准教授に厚く御礼申し上げます。また、年齢の違う私を受け入れ、精一杯学ぶ姿で学び合うことの尊さを、改めて教えてくれた学生の皆さんに、感謝と応援のエールを贈ります。

最後に、本研究に集中できるようご配慮いただいた本学関係者の皆様に、深く感謝申し上げます。



2018年国語国文学会春季講演会

『百人一首』再考 ―歌仙絵も問題を通して―

開催：2018年6月20日（水）

講演者：寺島恒世氏

『百人一首』は現在でもひろく親しまれている古典作品である。家庭で、学校で、かるた取りに興じたことのある人は少なくないであろう。競技かるたを題材にした漫画は、アニメ化、映画化もされて人気を博している。和歌の内容そのものの漫画化も若い世代に好まれているようだ。

一方、『百人一首』の成立をめぐることは、古来、多くの説が立てられ、議論も展開されてきたが、現在でも定説をみない。この度の講演では、和歌文学研究の泰斗、寺島恒世氏が、謎の多いこのテーマについて、新見に満ちた論を語ってくださった。一昨年の和歌文学会大会で、寺島氏は「後鳥羽院と定家と順徳院―「有心」の定位をめぐる―」と題する講演をされ（内容は学会誌『和歌文学研究』第114号に収載）、藤原定家の真作か否か説の分かれる『毎月抄』について、単に真偽の決着をつけるというのではなく、問題を根本的に洗い直したうえ、新しい光をあてられた。この講演をうかがって感銘を受けたことが、来校をお願いするきっかけのひとつにもなったが、それだけに演題をうかがったときか

ら、私の中で期待が大きくふくらんでいた。そして、実際に拝聴してみると、その期待を超えて、作品成立の光景が鮮やかに描き出された。

講演は、聴衆に親しく語りかけるように始まった。1、2年次の学生も多く聴いていることを踏まえ、誤りやすい人名の読みに注意を喚起するなどの配慮をされながら話はすめられ、後半の和歌の解釈が関わるころになると、語りはいよいよ熱気を帯びていった。

講演後にうかがったところによれば、このテーマで話されるのは、今回が初めてであるということだ。聴

衆には、学生のほかに、近隣の方々や卒業生の姿もみられた。これらの人たちとともに、新見に富む新説を都留で初めて聴くことができたというのはじつに貴重な体験で、大きな喜びであった。内容については、寺島氏が著作（ブックレット）にまとめて出されるとのこと。講演を聞き逃したという方も、ぜひそちらを読んで、どのような謎解きがなされたのかを知っていただきたいと思う。

（国文学科教授 佐藤明浩）

講師紹介



寺島恒世（てらしま つねよ）

武蔵野大学特任教授。国文学研究資料館・総合研究大学院大学名誉教授。博士（文学）。昭和27年、長野県出身。東京教育大学大学院修士課程修了、筑波大学大学院博士課程単位取得退学。山形大学、東京医科歯科大学を経て、国文学研究資料館・総合研究大学院大学教授。平成29年定年退職。平成21～30年文部科学省教科用図書検定調査審議会第1部会（国語）委員、平成27年以降部会長。主要業績は「歌語「奥」考」（渡部泰明編『秘儀としての和歌―行為と場』平成7年、有精堂）、和歌文学大系24『後鳥羽院御集』（平成9年、明治書院）、『新古今集古注集成 近世新注編2（尾張廼家包）』（平成26年、笠間書院）、『後鳥羽院和歌論』（平成27年、笠間書院）、共著として『古今歌ことば辞典』（平成10年、新潮選書）など。



昨年度の就職状況を振り返って

副学長

(兼キャリア支援センター長) 新保 祐司

本学の平成29年度の就職状況(5月1日現在)を振り返ってみると、就職率は、98.7%で、昨年度の96.9%よりも1.8ポイントの増となりました。一方、文部科学省と厚生労働省による平成29年度就職状況調査(国公立大学から62校を抽出、こちらは4月1日時点)をみると、今春卒業した大学生の就職率は、98.0%となり7年連続で上昇しました。平成9年の統計開始以来、過去最高で、3年連続の記録更新となりました。厚生労働省若年者雇用支援の担当者は「景気の回復基調に伴い、企業の採用意欲の改善傾向が引き続いている。過去の求人と比べても選択肢がたくさんある」と説明しています。文系・理系別では、文系が98.2%、理系が97.2%となり文系の就職率が理系を初めて上回りました。文系の本学の数字は、平均よりも0.5ポイント

高いものとなっています。

本学では、727名の卒業生(前期卒業生を含む)を送り出しました。就職希望者は、609名でそのうち601名の就職が決まりました。就職率は、前述したように、98.7%でした。平成25年度が93.3%、平成26年度が94.9%、平成27年度が95.9%、平成28年度が96.9%、平成29年度が98.7%で上昇を続けています。

就職先の内訳をみると、教員(臨時採用を含む)は、公立学校と私立学校を合わせて、178名となり、昨年度の177名より1名増加しました。小学校が119名、小中共通が1名、中学校が24名、中高共通が3名、高等学校が13名、特別支援学校が1名、私立学校が17名となっています。近來、私立学校の教員が増えてきています。公立学校では、北海道から沖縄

まで、全国の多くの都道府県、市で採用されています。山梨県の26名、東京都の11名、静岡県9名、千葉県・市の9名といったところが注目されます。

公務員は、84名と昨年の78名から増えました。地方公務員が74名、国家公務員が10名となっています。国家公務員は、昨年度は3名でしたので大幅に増えました。このところ、公務員の就職数は増加傾向にあります。

民間企業就職者は、昨年度の345名から339名と横ばいでした。内訳は、サービス業が127名、卸小売業が50名、金融保険業が34名、製造業が33名、運輸・郵便業が24名となっています。

さらに、大学院などへの進学者は、35名となっており、卒業生のうち、就職決定者と大学院等への進学者を合わせると、6年連続で8割を超え、9割に近

平成30年3月卒業生 就職先一覧

初等教育学科

【企業】

株式会社 アイテクノ
株式会社 アイキューブ
株式会社 アズノアズ
ANAエアポートサービス 株式会社
株式会社 ア波銀行
イオンリテール 株式会社
APパートナーズ株式会社
株式会社 NBCメッシュテック
大阪府高速電気軌道 株式会社
小代製鋼工業 株式会社
株式会社 学童パピエ
株式会社 紀陽銀行
コア・スポーツプラザ
株式会社 サーフビバレッジ
株式会社 サス・スポーツプロダクト
株式会社 三栄精機工業
清水工機 株式会社
株式会社 シャトレーゼ
株式会社 秀英予備校
全国共済農業協同組合
株式会社 東進四国
株式会社 徳島銀行
社会福祉法人明生会 なかよし第2こども会
株式会社 七十七銀行
株式会社 ナリス化粧品
日本交通 株式会社
株式会社 日本保育サービス
株式会社 パソナ
株式会社 羽中田自動車工業
株式会社 ビームス
芙蓉建設 株式会社
株式会社 ベスト・エデュケーション
株式会社 ベネッセスタイルケア
株式会社 ミニミニ神奈川
村井楽器 株式会社
株式会社 雪国まいたけ
株式会社 和美

【教員】

札幌市教育委員会
山形県教育委員会
茨城県教育委員会
栃木県教育委員会
埼玉県教育委員会
千葉県教育委員会
東京都教育委員会
神奈川県教育委員会
横浜市教育委員会
相模原市教育委員会
川崎市教育委員会
富山県教育委員会
石川県教育委員会
福井県教育委員会

山梨県教育委員会
大月市教育委員会
小菅村教育委員会
長野県教育委員会
浜松市教育委員会
静岡県教育委員会
愛知県教育委員会
三重県教育委員会
京都府教育委員会
兵庫県教育委員会
神戸市教育委員会
和歌山県教育委員会
鳥取県教育委員会
岡山県教育委員会
広島県教育委員会
岡山県教育委員会
広島県教育委員会
徳島県教育委員会
香川県教育委員会
愛媛県教育委員会
福岡県教育委員会
長崎県教育委員会
熊本県教育委員会
宮崎県教育委員会
鹿児島県教育委員会
沖縄県教育委員会

【私学】

泰日協会学校(バンコク日本人学校)
北京日本人学校
城星学園小学校
ジャカルタ日本人学校
学校法人 駿台甲府学園 駿台甲府小学校

【公務員】

山梨県庁
鳥取県庁
特別区人事委員会
大月市役所
那須塩原市役所
横浜市役所
浜松市役所
南東京市役所
南南町役場
東京消防庁
山梨県警察本部
山梨県警察本部

国文学科

【企業】

株式会社 アーズ
株式会社 IDOM
株式会社 アズ企画設計

アンダーツリー 株式会社
株式会社 岩手銀行
株式会社 ウィンキューブホールディングス
株式会社 エイジェック
SSBソリューション 株式会社
株式会社 エスエスワイ
株式会社 エムリンクス
株式会社 エネサンス関東
株式会社 MOA
MXモバイルリンク 株式会社
株式会社 カインズ
医療法人社団 帆美会 梶が谷眼科
株式会社 河合塾マナビス
株式会社 カンディハウス
クレイン農業協同組合
株式会社 グローバルヒューマンブリッジ
株式会社 パローホールディングス
株式会社 コマース
埼玉県国民健康保険団体連合会
株式会社 サン・ライフ
株式会社 サンボ
株式会社 システムシェアード
株式会社 ジャパン・トータル・クラブ
進和外语アカデミー
信州諏訪農業協同組合
株式会社 STEP
株式会社 全農長野計算センター
創文印刷工業 株式会社
ちばりハウス 株式会社
社会福祉法人 調布白雲福祉会
都留文科大学
ティケイネクス 株式会社
株式会社 DDホールディングス
株式会社 トップカルチャー
富山第一ホテル(株富山アメニティシステム)
長野日本ソフトウェア 株式会社
西日本旅客鉄道 株式会社
ニッテ債権回収 株式会社
日本文教出版 株式会社
社団法人 農山漁村文化協会
株式会社 ビッグモーター
ヒューマンアカデミー 株式会社
株式会社 フォーラムエンジニアリング
株式会社 福井銀行
富士新幸 株式会社
富士市農業協同組合
富士アセチレン工業 株式会社
株式会社 プロバインドジャパン
株式会社 ボルテージ
株式会社 マーキュリー
株式会社 マスダ
株式会社 南日本リビング新聞社
みのり薬局
株式会社 武蔵岡自動車教習所
明治商工 株式会社
株式会社 名鉄インプレス

メガネの相沢
株式会社 メッセ
もったいない本舗
株式会社 山口フィナシャルグループ
ヨシダ印刷 株式会社
株式会社 ローレル
株式会社 和心
株式会社 ロングテイル

【教員】

岩手県教育委員会
秋田県教育委員会
茨城県教育委員会
神奈川県教育委員会
富山県教育委員会
石川県教育委員会
山梨県教育委員会
長野県教育委員会
静岡県教育委員会
愛知県教育委員会
徳島県教育委員会
高知県教育委員会

【私学】

東京農業大学第2高等学校
学校法人 共愛学園
学校法人 八千代松陰学園 八千代松陰中学・高等学校
千葉明徳中学校・高等学校
学校法人 誠心学園 浜松開誠館中学校・高等学校
学校法人 千代田学園 大阪晩光高等学校
学校法人 興南学園

【公務員】

防衛省陸上自衛隊
山梨県庁
甲州市役所
気仙沼市役所
羽村市役所
調布市役所
浜松市役所
二本松市役所
身延町役場
長野県警察本部

英文学科

【企業】

藤アイ・イーシー
アイリスオーヤマ 株式会社
株式会社 アウテック
株式会社 アクセア神奈川
株式会社 アグサ
株式会社 アップル
ANAエアポートサービス 株式会社
アパホテル 株式会社
株式会社 アミティ
ESUHA I Co., Ltd
株式会社 イービーエム

石山法律事務所
岩崎グループ
株式会社 AIRDO
ANA成田エアポートサービス株式会社
株式会社 エイチ・アイ・エス
株式会社 エイジェック
株式会社 エノモト
株式会社 LDH JAPAN
櫻花日語学園
徳島相互信用金庫
亀有信用金庫
カラーリンク・ジャパン 株式会社
株式会社 河一屋
関東物産 株式会社
株式会社 サン・フレア
JAC Recruitment
株式会社 シップス
JALスカイエアポート沖縄 株式会社
株式会社 JALスカイ
株式会社 ジュビターテレコム
城南信用金庫
株式会社 SHINDO
新宿平和日本語学校
鈴与株式会社
スタッフサービスグループ
株式会社 STAR CAREER
住友不動産販売 株式会社
株式会社 ゼネラルリンク
台東不動産 株式会社
立山黒部貫光 株式会社
都留信用組合
ディップ 株式会社
株式会社 デジタルアイデンティティ
テンアライド 株式会社
東武トップツアーズ 株式会社
独立行政法人 国立病院機構 東海北陸グループ
株式会社 富山育英センター
日本住宅 株式会社
株式会社 ニューメディア
株式会社 ネオキャリア
株式会社 農協観光
野村證券 株式会社
株式会社 はなまる
株式会社 バルコム
東日本旅客鉄道 株式会社
株式会社 日立物流
株式会社 ビラッドフィルム
福井コンピュータホールディングス 株式会社
株式会社 文理学院
ベネトレイト・オブ・リミット 株式会社
株式会社 ベネッセコーポレーション
株式会社 山梨中央銀行
横浜市緑の協会
古田ガス 株式会社
株式会社 ランズ
株式会社 ラポート
株式会社 ワールド航空サービス

づいています。

以上、昨年度の就職・進学等の就職等の状況について簡単にまとめました。

このように、全体的には好景気の中での好調な就職率ではありますが、さらに重要なのは数字よりも、学生の皆さんが希望する仕事に就けることだと思います。キャリア支援センターでは、教員、公務員、企業のそれぞれの分野で、今年度も様々な支援事業を計画しています。自分の夢の実現を目指して積極的に参加してください。

平成 29 年度の就職関係データ

	29 年度
卒業者数 A	727
就職希望者数 B	609
就職決定者数 C	601
大学院等進学者数 D	35
就職率 C/B × 100	98.69%
進路決定率 (C + D) / A × 100	87.50%
内訳	就職者数
企業	339
教員	178
公務員	84

平成30年 3 月卒業生（前期卒を含む）の就職先別人数

A	教員	小学校	119
		中学校	25
		高等学校	16
		特別支援学校	1
		私立学校	17
		教員合計	178
B	公務員	国家公務員	10
		地方公務員	74
		公務員合計	84
C	民間企業	農業・鉱業	1
		建設業	9
		製造業	33
		電気・ガス熱供給業	3
		運輸・郵便業	24
		卸小売業	50
		金融保険業	34
		不動産業	19
		サービス業	127
		通信業	39
		民間合計	339
D	公立学校都道府県別採用数（臨採含む）	北海道・札幌市	2
		青森県	1
		岩手県	2
		秋田県	1
		山形県	1
		茨城県	4
		栃木県	5
		埼玉県	1
		千葉県・千葉市	9
		東京都	11
		神奈川県	6
		横浜市	2
		川崎市	2
		相模原市	3
		富山県	3
		石川県	6
		福井県	3
		山梨県	26
		長野県	6
		静岡県	9
		静岡市	2
		浜松市	3
		愛知県	5
		名古屋	1
		三重県	4
		京都府	1
		兵庫県	3
		神戸市	5
		徳島県	3
		香川県	1
		愛媛県	4
		高知県	1
		福岡県	1
		長崎県	3
		熊本県	1
		大分県	1
		宮崎県	1
		鹿児島県	2
		沖縄県	2
		合計	161

株式会社 綿半ホームエイド

【教員】

北海道教育委員会
栃木県教育委員会
千葉県教育委員会
神奈川県教育委員会
石川県教育委員会
福井県教育委員会
山梨県教育委員会
長野県教育委員会
名古屋教育委員会
愛知県教育委員会
広島県教育委員会
愛媛県教育委員会

【私学】

上野学園高等学校・上野学園中学校
昭和第一学園高等学校

【公務員】

裁判所
国土交通省
東京国税局
特別区人事委員会
山梨県庁
富士吉田市役所
甲府市役所
塩尻市役所
田原市役所
大島町役場
警視庁

比較文化学科

【企業】

株式会社 アイモバイル
株式会社 IDOM
株式会社 足利銀行
株式会社 アダストリア
ANA成田エアポートサービス株式会社
アパグループ
医療法人社団創夢会 アリオ大島眼科
株式会社 アルファリゾート
株式会社 いつ和
白井国際産業 株式会社
株式会社 エープロジェクト
株式会社 エスエーエス
株式会社 エブリイホームイホールディングス
岡山交通 株式会社
株式会社 Kaiken
金沢信用金庫
要建設 株式会社
川木建設 株式会社
株式会社 クスリのアオキ
グッドリビング 株式会社
株式会社 グッドフェローズ

クラブン 株式会社

株式会社 クレオ
グロウエンターテインメント 株式会社
グローウィン・パートナーズ
株式会社 ケービーエス
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
株式会社 こたぎ
株式会社 古名屋
株式会社 コロンビアスポーツウェア ジャパン
株式会社 コングレ
サイバーソリューションズ株式会社
三協立山アルミ 株式会社
シェアデザインズ 株式会社
シグマトロン 株式会社
株式会社 昭和システムエンジニアリング
株式会社 叙々庵
株式会社 セラヴィリゾート泉郷
損害保険ジャパン日本興亜 株式会社
太陽自動車 株式会社
第一電材 株式会社
多摩川精機 株式会社
タリーズコーヒージャパン 株式会社
株式会社 千正屋総本店
東リ 株式会社
株式会社 東横イン
東武トップアース 株式会社
株式会社 トウシンパートナーズ
東京エレクトロン山梨 株式会社
となみ野農業協同組合
株式会社 富山第一銀行
長野信用金庫
長野日本ソフトウェア 株式会社
株式会社 名古屋銀行
株式会社 西松屋チェーン
日本運輸 株式会社
日本年金機構
日本ビジネスシステムズ 株式会社
日本生命保険 相互会社
株式会社 日本保育サービス
日本郵便 株式会社
日本ソフテック 株式会社
日本郵便 株式会社
株式会社 ネオキャリア
株式会社 ハイマックス
株式会社 バイトレ
株式会社 八十二銀行
株式会社 ハンセン
東日本旅客鉄道 株式会社
株式会社 東奥日報社
株式会社 フェリーチェ
株式会社 フォーエス
株式会社 福井銀行
富士山みほり
富士河口湖温泉郷 湖南荘
株式会社 船井総合研究所
ブレンバンク 株式会社
株式会社 ベストライフ

株式会社 ベルーナ

株式会社 ボーラ・オルビスホールディングス
北陸コンピュータ・サービス 株式会社
三井倉庫エクスプレス 株式会社
森トラス・ホテルズ&リゾーツ 株式会社
公益財団法人 山梨厚生会 山梨厚生病院
株式会社 山梨中央銀行
UTグループ 株式会社
株式会社 RAJA
立正佼成会
株式会社 リンク・ソリューション
独立行政法人 労働者健康安全機構
農業生産法人 わかば農園株式会社

【教員】

山梨県教育委員会
大分県教育委員会

【私学】

学校法人 滋慶学園グループ

【公務員】

山形労働局
宮崎県庁
公立大学法人 福島県立医科大学
岩見沢市役所
山武市役所
東かがわ市役所
都留市役所
八戸市役所
松本市役所
相模原市役所
立科町役場
宮城県警察本部

社会学科 現代社会専攻

【企業】

株式会社 RYコーポレーション
株式会社 アイ・トピア
アサヒサンクリン 株式会社
AR アドバンステクノロジー 株式会社
花王ロジスティクス 株式会社
株式会社 きらやか銀行
株式会社 クスリのアオキ
株式会社 クリエイティブオフィス キュー
ザ グラン リゾートプリンセス富士河口湖
株式会社 ジェイック
株式会社 システナ
株式会社 シップス
株式会社 ジャステック
株式会社 スペース・プラン
住商セメント 株式会社
株式会社 セブンイレブン・ジャ

バン

武松商事 株式会社
タマチ工業 株式会社
タワーレコード 株式会社
東京空港交通 株式会社
東洋テクノ 株式会社
株式会社 トライグループ
株式会社 ナガノマト
西兵庫信用金庫
株式会社 ハビネス・アンド・ディ
東日本旅客鉄道 株式会社
菱和設備 株式会社
株式会社 ビックカメラ
株式会社 廣澤精機製作所
株式会社 ベネッセスタイルケア
松田産業 株式会社
株式会社 臨海
株式会社 YSK e-com

【教員】

青森県教育委員会
千葉県教育委員会
東京都教育委員会
石川県教育委員会
山梨県教育委員会
長野県教育委員会
静岡県教育委員会
浜松市教育委員会
滝川中学校・高等学校
徳島県教育委員会
熊本県教育委員会
鹿児島県教育委員会

【公務員】

富山労働局
茨城労働局
宮城労働局
東京国税局
名古屋国税局
国立大学法人 函館高等専門学校
長野県庁
岐阜県庁
特別区人事委員会
山梨県庁
静岡県庁
静岡県庁
大分県庁
牧之原市役所
御殿場市役所
宇都宮市役所
宮崎県庁
加西市役所
都留市役所
甲斐市役所
新発田地域広域事務組合
那須塩原市役所
吾妻広域町村圏整備組合
磐田市役所
扶桑町役場
七飯町役場
西桂町役場

徳島県警察本部

福井県警察本部

社会学科 環境・コミュニティ創造専攻

【企業】

アーク 株式会社
株式会社 アイキューブ
赤池造園 株式会社
株式会社 アブリー
今井印刷 株式会社
株式会社 インソーズ
株式会社 エスエスワイ
岡三証券 株式会社
神奈川銀行
加和太建設 株式会社
株式会社 クスリのアオキ
株式会社 ゴールドクレスト
佐川急便 株式会社
山日 YBSグループ
株式会社 シンコーハイウェイサービス
株式会社 大塗
株式会社 大京穴吹不動産
株式会社 タビックスジャパン
都留信用組合
株式会社 ティエフケー
株式会社 トヨタレンタリース埼玉
株式会社 長野銀行
株式会社 ハウスメイトパートナーズ
株式会社 ファーストリテイリング
VTVジャパン 株式会社
株式会社 プレステージジャパン
三重交通 株式会社
株式会社 三次インター自動車学校
有限会社 メイブル
株式会社 山梨中央銀行
株式会社 リーブルテック

【教員】

茨城県教育委員会
栃木県教育委員会
横浜市教育委員会
山梨県教育委員会
大月市教育委員会
山梨県教育委員会
静岡県教育委員会

【私学】

ルネサンス高等学校

【公務員】

地方独立行政法人 山梨県立病院機構
白山市役所
燕市役所
水戸市役所
甲斐市役所
森町役場
山梨県警察本部
東京消防庁



「授業についての 学生アンケート」の結果から

F D委員会委員長 平野 耕一

○授業アンケートについて

「授業についての学生アンケート」は、前期末と後期末に授業の一部の時間を用いて学生が質問項目に回答する形式で行われています。この稿では、2017年度の「授業についての学生アンケート」の結果を総括します。

1. 授業アンケート実施率

表1は、授業アンケートを実施して頂いた教員の割合を示したものです。専任教員の実施率は2014年度以降は90%以上でほぼ横ばいですが、100%には達していません。授業アンケートは、全ての授業担当者（専任・特任・非常勤講師）に必ず1科目以上の実施をお願いしていま

す。今後は100%を目指していききたいと思います。

2. 授業を履修した理由

授業アンケートのセクションA「この授業を履修した主な理由」の結果が表2です。「授業の分野に興味があった」、「将来役立つと思った」のような積極的な理由も多いですが、「必修科目だった」、「この時間が空いていた」という消極的な理由も目立ちます。是非、様々な学問の情報にアンテナを張って、自分が本気で打ち込めるものを見つけて欲しいと思います。また、授業で指定された教科書だけでなく、自ら複数の文献を探して読み進めていく姿勢が必要です。

3. 経年変化

表3は、最近4年間の全体平均点です。項目4の「予習・復習をしましたか」について、毎年、他の項目と比べて点数が低いです。但し、(対象の集団が変わっていくので正確な統計ではないのですが)4年間で点

表2 この授業を履修した
主な理由（2017年度）

（複数回答可）

設 問	理 由	前期 (%)	後期 (%)
1.	必修科目だった	44.1	47.8
2.	シラバスを読んで興味を持った	13.4	13.3
3.	授業の分野に興味があった	16.4	15.5
4.	よい授業と聞いていた	3.5	3.2
5.	将来役立つと思った	11.1	10.2
6.	単位を取りやすいと思った	2.1	1.7
7.	この時間が空いていた	8.1	7.1
8.	無効回答	1.3	1.2

表1 授業アンケート実施率

年 度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
専 任 教 員	75.0	96.1	97.8	94.6	96.0
非 常 勤 講 師	58.5	67.7	76.0	68.8	76.0

表3 経年変化（全体平均点）

項	設問文	2014 年度		2015 年度		2016 年度		2017 年度	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
B	あなた自身の授業への取り組みについて	セッション平均点							
		3.84	3.80	3.84	3.84	3.90	3.86	3.93	3.91
1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。80%程度(3回程度の欠席)を「普通」とし、5段階で答えてください。	4.32	4.14	4.35	4.19	4.38	4.20	4.36	4.20
2	事前にシラバスを読み、授業の目的、目標、内容を理解して臨みましたか。	3.80	3.79	3.79	3.84	3.84	3.83	3.89	3.89
3	授業に出席したときは、授業に集中し、熱心に取り組みましたか。	4.06	4.01	4.04	4.05	4.10	4.09	4.13	4.11
4	この授業について、予習あるいは復習をしましたか。十分に行ったを5、全く行かなかったを1とし、5～1の範囲で答えてください。	3.11	3.13	3.15	3.20	3.21	3.23	3.26	3.35
5	授業の内容をよく理解できましたか。	3.90	3.92	3.88	3.93	3.96	3.97	3.99	4.01
C	授業の進め方について	セッション平均点							
		4.13	4.16	4.08	4.18	4.19	4.21	4.20	4.22
8	説明の仕方あるいは指示の仕方は、理解しやすかったですか。	4.15	4.19	4.09	4.18	4.19	4.21	4.21	4.23
9	話し方(声の大きさや明瞭さなど)や板書は、わかりやすかったですか。	4.14	4.17	4.10	4.20	4.21	4.22	4.22	4.24
10	プリント、ビデオ、教科書など教材の使い方は授業内容の理解を助けるものでしたか。	4.19	4.23	4.15	4.23	4.26	4.26	4.26	4.28
11	学生の反応や理解度に応じた授業の進め方でしたか。	4.04	4.07	3.99	4.10	4.10	4.13	4.12	4.15
D	授業環境について	セッション平均点							
		4.17	4.17	4.15	4.18	4.21	4.20	4.23	4.24
E	授業内容について	セッション平均点							
		3.98	4.01	3.95	4.03	4.03	4.05	4.04	4.06
13	授業内容はわかりやすく整理されていましたか。	4.17	4.20	4.14	4.22	4.24	4.24	4.25	4.26
14	授業の内容は、知的な刺激があり、興味深いものでしたか。	4.17	4.22	4.14	4.23	4.22	4.26	4.24	4.27
15	授業の内容・構成は、シラバスで書かれた目標に沿っていましたか。	4.13	4.14	4.10	4.18	4.20	4.20	4.22	4.24
16	授業のレベル(難易度)は適切でしたか。難しすぎたを5、易しすぎたを1とし、5～1の範囲で答えてください。	3.46	3.46	3.43	3.48	3.46	3.49	3.46	3.48
F	授業成果について	セッション平均点							
		4.20	4.25	4.18	4.26	4.25	4.28	4.26	4.30
17	この授業を履修したことで、この分野に関する新しい知識や考え方、技能などを修得できましたか。	4.19	4.24	4.17	4.24	4.24	4.28	4.26	4.29
18	この授業を履修したことで、ものの見方や興味・関心を広げることができましたか。	4.18	4.23	4.16	4.24	4.22	4.27	4.24	4.28
19	総合的に考えて、この授業を履修して有意義であったと思いますか。	4.24	4.27	4.20	4.28	4.28	4.30	4.28	4.31

数が少しずつ上がってきています。授業を聞くだけではなく、自分の手を動かして考えながら内容をまとめたり、自分で反復して内容を定着させることが重要です。また、予習に重点を置き、授業前に疑問点を整理しておいて、授業中に質問して解決すると効率的です。

4. 授業形態比較

表4は、「講義」、「外国語」、「実習・

実験・実技」、「演習」の授業形態別の比較です。科目の特性もあるので一概に比較できませんが、「講義」と「外国語」よりも、「実習・実験・実技」と「演習」の科目の方が点数が高い傾向があるようです。

5. 学年比較

表5は、学年別の比較です。特に1年生は、大学での講義を受け、高校の授業との違いに戸惑った人もい

るかもしれません。授業についていけないなど困った時には、その科目の教員に「勉強の仕方」を聞いてみることをお勧めします。

○授業改善に向けて

今回の授業アンケートで、私も担当している授業について貴重な意見を頂きました。この声を基にして、授業の改善に向けて努力していききたいと思います。

表4 授業形態比較（2017年度）

項	設問文	講義		外国語		実習・実験・実技		演習			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
B	あなた自身の授業への取り組みについて	セッション平均点		3.85	3.84	4.08	3.99	4.18	4.05	4.16	4.14
1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。80%程度(3回程度の欠席)を「普通」とし、5段階で答えてください。	4.32	4.17	4.43	4.20	4.51	4.26	4.47	4.32		
2	事前にシラバスを読み、授業の目的、目標、内容を理解して臨みましたか。	3.87	3.88	3.82	3.81	4.03	3.98	4.05	4.08		
3	授業に出席したときは、授業に集中し、熱心に取り組みましたか。	4.04	4.00	4.28	4.18	4.54	4.43	4.44	4.42		
4	この授業について、予習あるいは復習をしましたか。十分に行ったを5、全く行かなかったを1とし、5～1の範囲で答えてください。	3.13	3.20	3.79	3.78	3.44	3.31	3.55	3.62		
5	授業の内容をよく理解できましたか。	3.91	3.94	4.06	4.01	4.40	4.25	4.28	4.27		
C	授業の進め方について	セッション平均点		4.15	4.16	4.28	4.26	4.46	4.36	4.38	4.42
8	説明の仕方あるいは指示の仕方は、理解しやすかったですか。	4.15	4.18	4.24	4.24	4.54	4.39	4.38	4.42		
9	話し方(声の大きさや明瞭さなど)や板書は、わかりやすかったですか。	4.15	4.16	4.31	4.32	4.57	4.43	4.38	4.43		
10	プリント、ビデオ、教科書など教材の使われ方は授業内容の理解を助けるものでしたか。	4.23	4.24	4.34	4.32	4.27	4.31	4.41	4.42		
11	学生の反応や理解度に応じた授業の進め方でしたか。	4.05	4.08	4.22	4.18	4.46	4.33	4.36	4.40		
D	授業環境について	セッション平均点									
12	クラスの学生数、教室の設備、備品などは適切な状態でしたか。	4.14	4.14	4.44	4.38	4.54	4.44	4.54	4.46		
E	授業内容について	セッション平均点		4.01	4.03	4.04	4.07	4.24	4.18	4.17	4.20
13	授業内容はわかりやすく整理されていましたか。	4.19	4.21	4.32	4.30	4.55	4.45	4.40	4.42		
14	授業の内容は、知的な刺激があり、興味深いものでしたか。	4.21	4.23	4.20	4.23	4.44	4.38	4.45	4.47		
15	授業の内容・構成は、シラバスで書かれた目標に沿っていましたか。	4.18	4.19	4.23	4.26	4.44	4.38	4.36	4.37		
16	授業のレベル(難易度)は適切でしたか。難しすぎたを5、易しすぎたを1とし、5～1の範囲で答えてください。	3.45	3.47	3.43	3.48	3.55	3.51	3.48	3.53		
F	授業成果について	セッション平均点		4.23	4.25	4.23	4.26	4.46	4.45	4.48	4.51
17	この授業を履修したことで、この分野に関する新しい知識や考え方、技能などを修得できましたか。	4.23	4.25	4.22	4.25	4.47	4.47	4.47	4.50		
18	この授業を履修したことで、ものの見方や興味・関心を広げることができましたか。	4.21	4.25	4.17	4.23	4.40	4.37	4.45	4.50		
19	総合的に考えて、この授業を履修して有意義であったと思いますか。	4.24	4.26	4.30	4.30	4.52	4.50	4.52	4.53		

表5 学年比較（2017年度）

項	設問文	1年		2年		3年		4年			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
B	あなた自身の授業への取り組みについて	セッション平均点		3.98	3.93	3.92	3.92	3.89	3.91	3.71	3.82
1	あなたはこの授業にどの程度出席しましたか。80%程度(3回程度の欠席)を「普通」とし、5段階で答えてください。	4.58	4.33	4.31	4.17	4.25	4.15	3.68	3.79		
2	事前にシラバスを読み、授業の目的、目標、内容を理解して臨みましたか。	3.86	3.84	3.94	3.93	3.89	3.93	3.78	3.89		
3	授業に出席したときは、授業に集中し、熱心に取り組みましたか。	4.18	4.12	4.11	4.09	4.09	4.12	4.05	4.09		
4	この授業について、予習あるいは復習をしましたか。十分に行ったを5、全く行かなかったを1とし、5～1の範囲で答えてください。	3.26	3.37	3.30	3.38	3.23	3.29	3.09	3.25		
5	授業の内容をよく理解できましたか。	4.03	3.97	3.96	4.01	3.98	4.07	3.92	4.06		
C	授業の進め方について	セッション平均点		4.22	4.19	4.18	4.22	4.19	4.27	4.19	4.27
8	説明の仕方あるいは指示の仕方は、理解しやすかったですか。	4.23	4.20	4.19	4.22	4.19	4.28	4.20	4.27		
9	話し方(声の大きさや明瞭さなど)や板書は、わかりやすかったですか。	4.25	4.22	4.19	4.23	4.20	4.27	4.19	4.27		
10	プリント、ビデオ、教科書など教材の使われ方は授業内容の理解を助けるものでしたか。	4.27	4.25	4.24	4.27	4.25	4.31	4.24	4.32		
11	学生の反応や理解度に応じた授業の進め方でしたか。	4.14	4.10	4.11	4.16	4.11	4.20	4.15	4.23		
D	授業環境について	セッション平均点									
12	クラスの学生数、教室の設備、備品などは適切な状態でしたか。	4.33	4.30	4.20	4.20	4.16	4.21	4.08	4.20		
E	授業内容について	セッション平均点		4.04	4.03	4.03	4.07	4.04	4.10	4.05	4.08
13	授業内容はわかりやすく整理されていましたか。	4.27	4.24	4.23	4.25	4.23	4.30	4.25	4.28		
14	授業の内容は、知的な刺激があり、興味深いものでしたか。	4.22	4.20	4.24	4.29	4.26	4.34	4.28	4.31		
15	授業の内容・構成は、シラバスで書かれた目標に沿っていましたか。	4.24	4.21	4.20	4.24	4.21	4.26	4.23	4.28		
16	授業のレベル(難易度)は適切でしたか。難しすぎたを5、易しすぎたを1とし、5～1の範囲で答えてください。	3.44	3.47	3.47	3.49	3.47	3.50	3.44	3.45		
F	授業成果について	セッション平均点		4.24	4.24	4.26	4.29	4.28	4.36	4.27	4.36
17	この授業を履修したことで、この分野に関する新しい知識や考え方、技能などを修得できましたか。	4.24	4.26	4.26	4.28	4.28	4.34	4.24	4.34		
18	この授業を履修したことで、ものの見方や興味・関心を広げることができましたか。	4.19	4.21	4.25	4.28	4.28	4.35	4.25	4.36		
19	総合的に考えて、この授業を履修して有意義であったと思いますか。	4.27	4.26	4.28	4.31	4.29	4.37	4.30	4.38		

平成29年度

都留文科大学卒業式



卒業証書授与



卒業生のことば

平成30年3月22日(木)、午前11時より都の杜うぐいすホールにて、平成29年度都留文科大学卒業式を開催いたしました。当日は、前日から降った雨や雪の影響で足元が悪く、大学から送迎バスを運行するなど、寒い日ではありましたが、729名(学部、専攻科、大学院を含む)がそれぞれの道へ、旅立ちました。

卒業生代表の奥澤敦子さん(国文学科)が、「4年間で学んだことは、きっと今後の生活の中で生きていくものであると確信しています。自分自身で考える姿勢、何事にも恐れず挑戦するチャレンジ精神、そして、仲間と支え合いながら前に進むこと。学生生活で身に付けた全ては、今後の人生を切り拓いていく糧となります。」と語られました。



▲当日の様子



◀応援団エール

平成29年度
卒業生・
修了者数

文学部	初等教育学科	200		比較文化学科	125
	国文学科	127			
	英文学科	117	専攻科	文学専攻	3
	社会学科				
		現代社会専攻	93	大学院	国文学専攻
	環境・コミュニティ創造専攻	56	英語英米文学専攻		4

平成30年度 入学試験状況

平成30年度 推薦入学試験状況			
学科名		受験者数	合格者数
文学部	国文学科	185	68
	英文学科	80	39
	比較文化学科	113	49
	比較文化学科(センター利用)	44	25
	国際教育学科	42	20
	国際バカロレア(IB)	1	1
教養学部	学校教育学科	179	92
	学校教育学科(センター利用)	53	23
	地域社会学科	125	64
	地域社会専攻(センター利用)	39	13
	地域社会学科(活動評価型推薦)	7	7

平成30年度 編入試験状況			
文学部	学科名	受験者数	合格者数
	初等教育学科	15	3
	国文学科	8	4
	英文学科	16	4
	社会 現代社会専攻	8	2
	学科 環境・コミュニティ創造専攻	4	2
	比較文化学科	9	4

平成30年度 前期日程入学試験状況			
文学部	学科名	受験者数	合格者数
	国文学科	94	42
	英文学科	48	41
	比較文化学科	80	51
	国際教育学科	34	31
	学校教育学科	71	40
	地域社会学科	188	56

平成30年度 中期日程入学試験状況			
文学部	学科名	受験者数	合格者数
	国文学科	345	80
	英文学科	196	103
	比較文化学科	338	51
	国際教育学科	56	11
	学校教育学科	290	82
	地域社会学科	458	113



平成29年度 学生表彰制度による表彰

課外活動において特に顕著な成績を挙げたと認められる学生や団体、また、社会活動において社会的に高い評価を受けたと認められる学生や団体に対する学生表彰制度により、11名3団体が表彰されました。

表 彰 者 (団体・個人)	推 薦 理 由 (概 要)
合唱団	第70回全日本合唱コンクール大学一般職場部門・大学ユースの部において9年連続となる金賞受賞合わせて最優秀である文部科学大臣賞を受賞
女子バスケットボール部	第66回関東甲信越大学体育大会 優勝
女子バレーボール部	山梨県社会人6人制バレーボール選手権準優勝 クラブカップ山梨県予選準優勝 山梨県大学春季リーグ・秋季リーグ優勝 関東甲信越大学体育大会準優勝 ほか
女子バレーボール部 榊 真 琴	山梨県大学バレーボール春季リーグ戦においてブロック賞を受賞
女子バレーボール部 山 田 愛	山梨県大学バレーボール春季リーグ戦において最優秀選手賞を受賞 春季・秋季リーグ戦においてセッター賞受賞
女子バレーボール部 佐々木 奏 織	山梨県大学バレーボール春季及び秋季リーグ戦においてリベロ賞を受賞
女子バレーボール部 掛 場 優 貴	山梨県大学バレーボール春季リーグ戦においてスパイク賞を受賞
女子バレーボール部 浦 山 和 泉	山梨県大学バレーボール春季リーグ戦においてサーブ賞を受賞
女子バレーボール部 中 居 杏 奈	山梨県大学バレーボール秋季リーグ戦において最優秀選手賞を受賞
女子バレーボール部 石 井 喜 子	山梨県大学バレーボール秋季リーグ戦においてサーブ賞を受賞
女子バレーボール部 東 城 友 香	山梨県大学バレーボール秋季リーグ戦においてブロック賞を受賞
女子バレーボール部 山 田 佑 真	関東大学女子二部リーグ戦においてレシーブ賞及びサーブレシーブ賞を受賞
陸上競技部 大神田 南 海	日本学生陸上競技個人選手権大会100mハードル 第7位
女子バスケットボール部 舟久保 沙 耶	平成29年度鶴鷹祭女子バスケットボール 最優秀選手賞

成績優秀者表彰が行われました



6月25日(月)に、昨年度(平成29年度)、学内において優秀な成績を修めた学生を表彰する「成績優秀者表彰式」が行われました。

対象となったのは、初等教育学科・国文学科・英文学科・社会学科・比較文化学科の2年生から4年生までの各学年で1名ずつ、計15名の成績最優秀者、各学年で4名ずつ、計60名の成績優秀者と国

際教育学科の最優秀者1名の76名が表彰されました。式典では横内理事長と福田学長からお祝いの言葉を頂き、続いて学長より表彰状が授与されました。

また対象者には、平成26年度より創設された「成績優秀者奨学金」が給付されます。

同窓生支援による 模擬面接試験体験会



5月12日(土)、教員採用試験2次試験対策のため『模擬面接試験体験会』を開催しました。会には教員を志望する118名の学生が参加し、28名の同窓生講師が後輩の指導のため全国からお集まりくださいました。

第一部は、代表学生が本試験さながらに集団討論・模擬授業を公開で行い、表現内容から立ち居振る舞いに至るまで面接官役講師のきめ細やかな御指導を受けました。代表学生は自ら志願した熱意ある学生です。実践することで手応えを感じさらに力をつけたことでしょう。また、見学した多くの学生は、「実践内容を客観的に見ることで、2次試験対策として

自分に不足しているところを具体的に知ることができた」と感想を述べており、今後の取り組みに繋がる良い刺激を得たようです。

また、第二部では受験地域ごと教室に分散し、各地域の現況に即したアドバイスや集団面接・討論等の実践指導をしていただきました。学生にとっては、同窓生の先輩方と繋がることのできる貴重な機会となり、その絆を心強く感じたことと思います。

ご協力いただきました同窓会の皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

下吉田東小学校での英語ボランティアによる模擬授業



模擬授業を行う中村結さんと賀佐憩さん
(当時4年、現千葉県千葉市立山王中学校教諭)

平成 21 年度より毎年、英文学科英語教育研究ゼミから下吉田東小学校での「外国語活動」の授業に学生を派遣しています。通常はアシスタントとしての参加ですが、年度末には学生が主となる模擬授業を実施します。関係の先生方のご指導のおかげで、多くの学生が卒業後に英語教師として活躍しています。昨年度は2月1日(木)に6年生の授業を行いました。以下は、授業を担当した中村結さん(平成 29 年度英文学科4年、現長野県中野市立中野平中学校教諭)の体験談です。



私は下吉田東小学校の「外国語活動」に3年間、学生ボランティアとして参加しました。内容は主に、授業内活動の実演補助と児童への個別支援です。その中で、母語話者の先生がどのように英語だけで授業を進めるかを学びました。また、最後には自分たちで授業を計画、実行する機会をいただき、大きな自信となりました。聞こえた英語を素直に真似したり、自分で考えて使ったりしている子どもたちと共に学ぶことで、外国語の初期教育の大切さを実感しました。私は今、この貴重な経験を中学校での自分の授業づくりに生かしています。

英文学科教授 三浦幸子



講師の先生方と運営に関わったゼミ生たち

新学習指導要領を踏まえた英語授業のあり方

神奈川県立弥栄高等学校教諭（平成29年度大学院英語英米文学専攻2年） 荒井 康 耀

平成30年2月4日（日）に、英文学科英語教育研究ゼミ（担当三浦幸子）の主催で、「英語教育セミナー」を開催しました。高大連携を行っている都留興譲館高等学校の先生方の希望も取り入れ、新学習指導要領を踏まえ、「中高におけるこれからの英語教育で求められる言語活動の在り方」について工藤洋路先生（玉川大学）に、「やり取りを成立させるための指導と支援の在り方」について津久井貴之（お茶の水女子大学附属高等学校）にお話をいただきました。セミナーを通して、個々の生徒の英語学習に与える教師の役割の重要性を学びました。例え

ば、教科書の内容を深く理解させるためには発問を工夫する必要がありますが、内容をもとに自分自身の立場で考える質問は生徒が教科書内容と対話する好機となります。また、生徒の声にしっかりと耳を傾けて授業を展開することや工夫された言語活動を行うことで生徒の意欲を引き出し、より主体的に学習に向かうきっかけとすることの重要性を感じました。生徒の英語力をより高めるために、まずは教師がどのような力をつけさせたいか意識して活動や授業作りをすることが大切であると思います。



工藤先生の講演



津久井先生の講演

サークル紹介 ストリートダンスサークル



ストリートダンスサークルの学生達

ヴァンフォーレ甲府 開幕セレモニー

当日の中銀スタジアム



応援パフォーマンス



写真：SDC 専属カメラマン谷端真依さん

4月7日(土) ヴァンフォーレ甲府、2018 明治安田生命 J2 リーグ第8節の水戸戦が山梨中銀スタジアム行われました。この日は「コイケスペシャルマッチ・ホームタウン 都留市サンクスデー」となっており、都留市PRやキッズチャレンジマッチ、スクール交流戦などイベントの一環として、ストリートダンスサークルが応援パフォーマンスを行いました。パワフルなダンスパフォーマンスで沢山の観客を盛り上げ、ヴァンフォーレ甲府の選手の皆さんにエールを送りました。

第49回 つる子どもまつり

5月13日(日)、都留文科大学を会場として第49回つる子どもまつりが開催されました。

今年はあいにくの空模様で小雨にも関わらず、多くの来場者がありました。午前9時の開会式から3時50分に閉会式が終了するまでの間、「くに企画」と題し、ブース毎に工作(木工のくに)や演劇(人形劇、富士山エンタメ忍者隊)、ゲーム(魚釣り、的当て)などの様々なレクリエーションが行われたり、お昼にリラックスして楽しく過ごすための吹奏楽部による企画などが実施されました。訪れた多くの保護者や子どもたちの笑顔がはじけました。



名誉教授の称号授与

平成 29 年度をもって定年退職された次の 3 名の教員に対し、これまでの研究活動並びに学内活動などの功績を称え、名誉教授の称号を授与いたしました。



柳 宏 教授：初等教育学科教授、38 年間にわたり本学の教員をつとめられました。研究・教育活動では、初等教育学科の必修科目である「体育実技演習」「体育教材研究」の授業を担当され、テキストとして「小学校学習指導論」の執筆もされました。また、長年バレーボール部の顧問として指導し、山梨県大学バレーボール連盟会長などを歴任し、山梨県におけるバレーボール普及・発展に努められました。

在職期間中は、様々な委員会の要職を歴任され、初代入学センター長として本学の入試改革や入試運営などに尽力されました。

今井 隆 教授：英文学科教授、36 年間にわたり本学の教員をつとめられました。研究・教育活動では、英文学科の「グローバルキャリア・プログラム」という、新しいプログラムの設置に尽力され、受講した多くの学生が、専門性の高い授業と課外活動を通じ、ビジネスシーンで通用する英語能力を身に付け社会で活躍しています。また研究では、生成文法分野で国際的に活躍されました。

在職期間中は、学科主任、委員会の仕事にも多く関わり大学院英語英米文学専攻開設では設置副委員長として、また、長く図書館長・情報センター長も務められました。



大平 栄子 教授：英文科教授、28 年間にわたり本学の教員をつとめられました。研究・教育活動では、英文学研究のみならず、インドのデリー大学の客員研究員としての経験から、インドやパキスタン文学研究もされました。また、学部・大学院での学生指導は、大変きめ細かく、丁寧で多くの学生に慕われました。

在職期間中は長年、学長補佐を務められ、保健センター、語学教育センターなど諸センターの設置に携わり、特に保健センターでは、保健室長として、学生たち一人、一人の心の問題に取り組まれました。その他、大学院英語英米文学専攻の設置、ジェンダー研究プログラムの設置など、学内運営に多岐に渡りご活躍されました。

優れた多くの学生を輩出するなど、本学発展のため多大な貢献を賜り、誠に有難うございました。

人事異動

【採用】

OLAGBOYEGA Kolawole Waziri (文学部英文学科教授)

萩原一郎 (文学部英文学科特任教授)
大平栄子 (文学部英文学科特任教授)
今井隆 (文学部英文学科特任教授)
石田勝紀 (文学部国際教育学科特任教授)
市川桂 (文学部国際教育学科特任講師)
内山美恵子 (教養学部学校教育学科教授)
廣田健 (教養学部学校教育学科教授)
新井仁 (教養学部学校教育学科准教授)
瓦林亜希子 (教養学部学校教育学科准教授)
武蔵由佳 (教養学部学校教育学科准教授)
山田暢司 (教養学部学校教育学科特任教授)
山中聡恵 (教養学部学校教育学科特任准教授)
滝井章 (教養学部学校教育学科特任教授)
中井均 (教養学部学校教育学科特任教授)
柳宏 (教養学部学校教育学科特任教授)
草津祐介 (教養学部学校教育学科特任准教授)
谷合弘行 (教養学部学校教育学科特任准教授)
吉岡卓 (教養学部学校教育学科特任准教授)
春日尚雄 (教養学部地域社会学科教授)
鈴木哲雄 (教養学部地域社会学科教授)
鈴木健大 (教養学部地域社会学科准教授)
玉置敦彦 (教養学部地域社会学科講師)
北垣憲仁 (地域交流研究センター教授)
泉宜宏 (教職支援センター特任教授)
金山光一 (教職支援センター特任教授)
小俣一夫 (教職支援センター特任講師)
小河智佳子 (情報センター特任准教授)
高橋雅子 (語学教育センター特任教授)
前田文子 (経営企画課特任専門職員)
関戸浩子 (経営企画課特任専門職員)
関戸聡子 (経営企画課特任専門職員)
大輪知穂 (総務課特任専門職員)
高橋眞智子 (総務課特任専門職員)
小林美貴子 (学生課特任専門職員)
梅澤あゆみ (キャリア支援センター特任専門職員)

【退職】

柳宏 (初等教育学科教授)
中井均 (初等教育学科教授)
今井隆 (英文学科教授)
大平栄子 (英文学科教授)
平林祐子 (社会学科教授)
森川鈴子 (国際教育学科教授)
松平好人 (社会学科准教授)
金山光一 (教職支援センター特任教授)
品田笑子 (COC推進機構特任教授)
岡部真理子 (語学教育センター特任准教授)
布山浩司 (初等教育学科特任准教授)
堀内成寿 (経営企画課主事)

【転入】

経営企画課課長 小宮文彦
総務部企画課主幹 (兼) 課長補佐
経営企画課副主幹 亀田浩行
市立病院事務局副主幹
経営企画課主査 清水友美子
教育委員会学校教育課主査
経営企画課主任 権守望
福祉保健部福祉課主事
総務課主査 遠山政司
産業建設部上下水道課主査
総務課主事 久田江梨子
福祉保健部福祉課主事
総務課 吉田時代
総務部企画課主幹
学生課副主査 村松太一
福祉保健部長寿介護課主任
学生課副主査 武井千春
会計課副主査
学生課主任 小坂慎太郎
市民部税務課主事

【転出】

福祉保健部健康子育て課課長 齊藤浩稔 (経営企画課課長)
福祉保健部健康子育て課主幹 (宝保有所所長)
鈴木正子 (学生課主幹)
介護老人保健施設つる事務局主幹
高山みどり (経営企画課主幹)
教育委員会学校教育課副主幹 小澤初美 (経営企画課副主幹)
産業建設部上下水道課副主幹 田代崇 (学生課副主幹)

【昇任】

文学部国文学科教授 野口哲也 (文学部国文学科准教授)
文学部国文学科教授 野中潤 (文学部国文学科准教授)
文学部英文学科教授 三浦幸子 (文学部英文学科准教授)
教養学部学校教育学科教授
市原学 (教養学部学校教育学科准教授)
教養学部学校教育学科准教授
岡野恵司 (教養学部学校教育学科講師)
教養学部学校教育学科准教授
十川菜穂 (教養学部学校教育学科講師)
語学教育センター特任教授
桑原奈智子 (語学教育センター准教授)
語学教育センター特任准教授
宮城スサナ (語学教育センター講師)
学生課副主幹 山本香栄 (学生課主査)
学生課副主査 柏木秋宏 (学生課主任)

【配置換】

インターナショナル・コーディネーター
櫻場江利子 (学生課国際教育学科事務室)

2018 年は日本映画の 当たり年

英文学科 ヨハンノルドストロム



平成 30 年はまだ 6 ヶ月しか経っていないが、日本映画の年とも言えるだろう。先ずは平成 30 年 4 月に、東京国立近代美術館フィルムセンターが「国立映画アーカイブ」(NFAJ) に名称を変更し、独立行政法人国立美術館の 6 番目の館として設立に至ったことである。日本で唯一の国立映画専門機関である NFAJ は、映画の保存・研究・公開を通して映画文化の振興をはかる拠点として、国内外の(デジタル作品を含む)映画及び図書などの映画関連資料の収集・保存・復元とこれらに関する学術的な調査研究に携わるとともに、館内での上映・展示、図書室での公開、ならびに館外利用者への貸出・複製利用・特別観覧などによって所蔵品の公開を行っている。私は今までキュレーターとして何回も NFC (旧 NFAJ) に協力し、日本の映画文化を海外に紹介したが、今年の 10 月も新しい NFAJ と組み、イタリアのポルデノーネ無声映画「Le Giornate del Cinema Muto」に日本の様々な無声映画が上映されるが、今年のプログラムは、サウンド版映画の特集である。サウンド版は、サイレント映画からトーキーへの移行期に製作された、音楽付のサイレント映画であり、溝口健二監督の『折鶴お千』(1935 年)、野村芳亭監督の『東京音頭』(1933 年)、島津保次郎監督の『お小夜恋姿』(1935 年)の 3 作品の上映が予定されている。

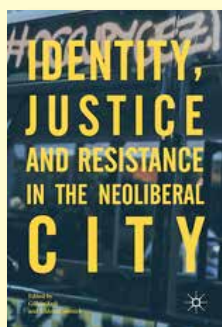
二番目は是枝裕和監督の新作『万引き家族』が今年のフランスのカンヌ国際映画祭で最高賞にあたるパルム・ドール (Palme d'Or) を受賞したことである。日本人の監督による映画としては、1997 年の今村昌

平監督『うなぎ』以来 21 年ぶりの快挙である。是枝監督の特徴の一つとして、『誰も知らない』(年) に典型的に見られるように、子供の自然な演技を引き出すことに長けていることである。今回の『万引き家族』も、子供特有の繊細なイノセンスに溢れており、彼らを見つめる母親役の安藤サクラの演技が、カンヌの審査委員長を務めたケイト・ブランシェットも絶賛したことは十分に納得できる。『万引き家族』を未見の方は、是非とも映画館でご覧になっていただきたい。三番目は、2018 年に生誕 100 年を迎える映画監督・川島雄三の企画に関わったことである。10 月刊行の書籍(『川島雄三は二度生まれる』水声社)をはじめ、日活を中心とした映画会社と連携し、海外に積極的に紹介することで、川島雄三の名を世界に知らしめたい。



国立映画アーカイブ▶

ぶんだい堂



**Identity, Justice and
Resistance in the
Neoliberal City**

2017 年 8 月発行
Palgrave Macmillan; 1 版

◇さとう ゆたか
比較文化学科 准教授

進化する妖怪文化研究
—絵巻・草紙からマンガ・
ラノベまで(妖怪文化叢書)

小松和彦 編
2017 年 10 月発行
せりか書房

◇しむら みよこ
比較文化学科 准教授



〒402-8555 山梨県都留市田原 3-8-1
☎ 0554-43-4341
URL: <http://www.tsuru.ac.jp/>

都留文科大学報 第 137 号 2018 年 7 月 10 日発行

都留文科大学広報委員会

古川裕佳(委員長)・日向良和(副委員長)・新保祐司(担当副学長)・水口潔・鈴木健大・エバンス・志村三代子・ヨハンノルドストロム・山口博史・小林泰憲(経営企画課長補佐)・清水友美子(企画広報担当)・関戸聡子(企画広報担当)